



画：ブライアン・ウィリアムズ／「湖東の春」 曲面油彩画

## 第64期 中間報告書

平成29年7月1日 ▶ 平成29年12月31日

### トップメッセージ

- 当中間期の概況と今後の取り組み

### TOPICS

- ICT施工現場紹介
- 滋賀県優良工事表彰ダブル受賞
- 西日本旅客鉄道株式会社様より感謝状をいただきました
- 平成29年度滋賀県低炭素社会づくり賞受賞

### 工事紹介

- 栗東市学校給食共同調理場建設工事
- ナショナルトレーニングセンター拡充棟新営その他工事



# TOP MESSAGE

## トップメッセージ

株主のみなさまにおかれましては平素より、格別のご支援、ご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社第64期第2四半期累計期間(平成29年7月1日から平成29年12月31日まで)の事業活動が終了いたしましたので、当中間期の業績、経営施策および今後の取り組みについてご報告させていただきます。

みなさまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

### 当中間期の業績は?

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあって、企業収益や雇用情勢は改善し、個人消費や設備投資は持ち直ってきており、景気は緩やかな回復基調が続いております。

一方、建設業界につきましては、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は2か月ぶりの大幅プラスになりました。一方、公共投資におきましては、請負金額が3か月ぶりの大幅プラスとなりました。従いまして、引き続き緩やかな回復基調にあるものの、弱含みの横ばい状態から回復に向けての動きを探る展開となっております。

このような経済状況下、当社は現場力の強化、経費削減およびリスク管理の強化を重点的に取り組み、競争力を高める努力をしてまいりました。

### 当中間期の経営施策は?

当中間期では、TOPICSでご紹介しておりますように当社土木部門施工工事において滋賀県優良工事表彰2件の受賞に輝き、さらに当社鉄道部門施工のJR湖西線の災害復旧工事では、西日本旅客鉄道株式会社様より感謝状をいただきました。これは全国的に報道されましたのでご記憶にある株主さまもいらっしゃると思いますが、平成29年10月22日に発生したJR湖西線の比良駅と近江舞子駅間において台風21号により電柱が倒壊するという甚大な被害に対し、その電柱基礎の復旧工事を当社が迅速に行い、早期運転再開に貢献したことによるものであります。

当社では、社会インフラの安心・安全を確保することは、公共事業に携わる建設業者の使命と考え、インフラの施工のみならず、インフラの維持・修繕においても全力を尽くしてまいりましたが、その努力が認められ大変うれしく思います。

また、地下工事部門ではナショナルトレーニングセンター拡充棟等の施工に従事いたしました。ナショナルトレーニングセンターは日本初のトップレベル競技者用トレーニング施設として設置され、JOCおよびJOC加盟競技団体に所属する選手・スタッフが専用で

利用し、オリンピック代表選手の練習の場となっている施設です。このように、昭和39年以来56年ぶりの開催となる東京オリンピックに、少しでもお役に立てることは大変光栄であります。

さらに、建築部門では、当社信楽本店新社屋でのCLT(直交集成板)パネル工法の実証内容が認められ、滋賀県より表彰を受けるという喜ばしい結果となりました。当社では今後もより一層、CLTの普及に尽力してまいります。

### 今後の取り組みは?

建設業界におきましては、公共工事の減少など需要停滞の影響はあるものの、引き続き建設需要は堅調に推移するものと予測されます。しかしながら、若年層の建設業界離れや少子化の影響もあり、建設従事者的人手不足は深刻で、引き続き厳しい経営環境は継続するものと思われます。そこで、当社では今後の担い手となる人材の確保に積極的に取り組んでまいります。

また、今般注目されているi-Construction<sup>®</sup>を積極的に推進し、若者や女性にとって魅力ある建設現場を目指してまいります。

このように、将来に向けて人材を確保するとともに、働きやすい職場環境の構築を行うことで、創業100周年に向けて持続可能な会社経営を行っていく所存であります。

なお、利益配分につきましては、業績に応じた配分を基本とし、株主のみなさまへの安定的な利益還元と経営体質の強化を重要な経営方針の一つとして位置づけ、今後の事業展開などを勘案して決定することとしております。当期末の配当金につきましては、1株につき40円の配当を予想し、業績予想の必達に全社一丸となって邁進してまいります。

平成30年3月

株式会社 三東工業社  
代表取締役社長 奥田 克実

#### ※i-Constructionとは

建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す新しい取り組みであり、次の3つの取り組みを行うこと。

\*ICT技術の全面的な活用

\*規格の標準化

\*施工時期の平準化

#### i-Constructionが目指すものは

・ICT技術の全面的な活用・規格の標準化・施工時期の平準化により、一人ひとりの生産性を向上させ、企業の経営環境を改善に導く。

・建設現場に携わる人の賃金水準の向上を図るなど、魅力ある建設現場へと転換させる。

・建設現場の死亡事故ゼロを目指す。

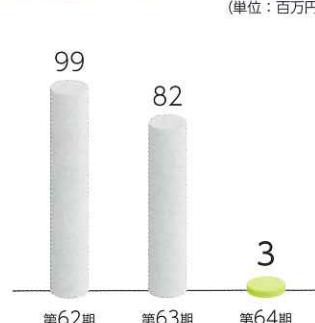
・3K(きつい・汚い・危険)から新3K(給与・休暇・希望)へと転換させる。

## 第2四半期累計期間財務ハイライト

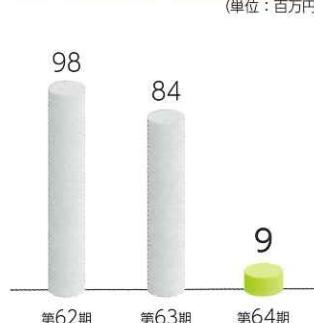
売上高	2,444百万円
(単位：百万円)	



営業利益	3百万円
(単位：百万円)	



経常利益	9百万円
(単位：百万円)	



1株当たり四半期純利益	15.82円
(単位：円)	



# TOPICS

## ■ICT施工現場紹介

国土交通省が提唱する「i-Construction」とは、建設現場の生産性革命であり、その目標は建設現場を「ICTを駆使した最先端の工場化する」ということです。

その取り組みの一つにICT\*

を全面的に活用した「ICT土工」があります。UAV(ドローン)や、レーザースキャナなどによる3次元現況測量、平面図・断面図を統合した3次元データの活用、MC(マシンコントロール)により自動制御されたバックホウなどのICT建設機械の使用、3次元現況測量による出来形管理などを実施することにより、土工事やそれに伴う測量業務が大きく省力化され、熟練オペレータに頼らずとも、マシンコントロール機能により経験の少ないオペレータにも操作が可能になります。さらにクラウド上で離れた場所からでも、刻々変化する現場の施工・進捗状況をリアルタイムで把握することができるという画期的な先進技術です。

建設業界では、今後10年間で高齢化のため110万人が離職を余儀なくされ、若年者の入職も見込めない、深刻な人手不足の状況が待ち受けております。しかし、この技術を推進することにより、その時代が到来しても、少ない人数でより正確に、早い施工が可能になるのです。この建設現場は当初、情報化施工を実施し、土工事において「TS出来形管理」\*を行うことが仕様書に記載されておりましたが、当社はそこから1歩進んだICT土工に取り組むことを提案した結果、「ICT土工滋賀県第一号」の現場となりました。平成29年9月1日には「都道府県土木・建築部等技術次長技監会議」に伴う見学会を開催いたしましたが、全国から100名もの来場者があり、高い評価をいただきました。

当社は滋賀県内にとどまらず、全国にPRできる技術を有し建設業界の最先端を走っていることに大きな誇りを感じております。私共はこれからも常に時代の先を見据え、それぞれの時代を見抜く「目」と、それに応じた「確かな最先端技術」を持ち続けられるよう、努力してまいりたいと思います。上記見学会の模様は、当社ホームページの「i-Constructionの取り組み」にてご紹介しておりますのでぜひともご覧ください。

\***ICT** : ICT(Information Communication Technology)とは、情報通信技術のことを指し、ICTを活用することにより高効率・高精度の施工をすること。

\***TS出来形管理** : 現在一般的に利用されている巻尺・レベルに代わって「施工管理データを搭載した計測器(TS:トータルステーション)」を採用した施工管理方法のこと。



現場代理人  
中山祐介  
(土木工事部工務課長)



監理技術者  
中尾浩樹  
(土木工事部工事主任)



生田周作  
(土木工事部次長)



Team ICT



西尾拓哉  
(土木工事部)

株式会社三東工業社ホームページ

URL <http://www.santo.co.jp>

## ■滋賀県優良工事表彰ダブル受賞

★琵琶湖環境部門：琵琶湖流域下水道東北部愛東東幹線上岸本1工区管渠工事

★土木部門：野洲停車場線補助道路整備工事



標記2件の施工工事において、滋賀県優良工事表彰の知事賞を受賞いたしました。

これらの工事は、ともに県内のインフラ整備にあたり、管渠工事につきましては琵琶湖の環境保全に大きな役割を果たす工事です。一方野洲停車場線の工事については前回第63期の年次報告書でもご紹介しておりますが、地域の方を始め通行される歩行者、車両にも安心・安全な道路環境を提供することができました。

当社の施工が認められたことは大変喜ばしく、琵琶湖を守り、地域の安全のため引き続き邁進してまいります。

## ■西日本旅客鉄道株式会社様より感謝状をいただきました

西日本を中心に暴風が吹き荒れた平成29年10月、超大型の台風21号の被害を受け、JR湖西線高架上の線路にある電柱9本がなぎ倒されて不通となる事態が起こりました。当社の復旧作業により線路は無事開通し、その迅速な対応に対して感謝状をいただきました。



## ■平成29年度滋賀県低炭素社会づくり賞受賞

当社はCLT\*パネル工法の実証において、「平成29年度滋賀県低炭素社会づくり賞」\*を受賞し、平成29年10月18日、「びわ湖環境ビジネスメッセ2017」の会場にて表彰状が授与されました。

従来工法(軸組工法、軽量鉄骨造)と比較して多くの木材を使用しており、滋賀県初のCLTパネル工法による建築物で、CLTパネル工法の普及のため見学を受け入れている、さらに構造材はすべて滋賀県産材のスギを使用している、という点が評価され、受賞の運びとなりました。マザーレイクと称えられる琵琶湖を抱く、環境保全に対する意識の高い滋賀県において、当社の取り組みが高く評価されたことを大変光栄に思います。

\***滋賀県低炭素社会づくり賞** : 温室効果ガス排出削減に貢献する製品・サービスを生み出す、県内で行われる事業活動を表彰するもの。

\***CLT** : Cross Laminated Timber の略称で、ひき材の繊維方向が層ごとに直交するように重ねて接着したパネルを示す用語。



# 工事紹介

## 建築部門

### 栗東市学校給食共同調理場建設工事

■発注者：栗東市 ■工期：平成29年6月8日～平成30年8月31日 ■場所：滋賀県栗東市高野地先 ■施工者：三東・たち建設工事共同企業体  
■概要：鉄骨造2階建 延床面積 4,232m<sup>2</sup>

当社の本社所在地である栗東市は、平成3年JR東海道本線に栗東駅が誕生して以来人口増加が続いている中、40年以上前に建築された学校給食調理場は老朽化が進み機能的にも提供できる食数が限られ、中学校においては学校給食の提供ができない状況となっていました。そのような中で、念願の給食共同調理場新築計画が実現し、当社JV\*がその工事にあたることとなりました。

食育が大きな国民的課題となっている昨今、次代を担う子

供たちに安心・安全で心身を育てる給食を提供することはとても重要なことです。その拠点となる調理場建設に当社が携わることは大変喜ばしく、子供たちの健やかな成長を願って、工事完工に向かって、誠心誠意、安全に工事を進めてまいります。

\*JV：ジョイントベンチャー=共同企業体



監理技術者 柴田 隆  
(建築工事部 工事長)

現場代理人 佐野 正樹  
(建築工事部 工事主任)

## 土木部門

### ナショナルトレーニングセンター拡充棟新営その他工事

■発注者：文部科学省 ■工期：平成29年7月1日～平成30年5月31日 ■場所：東京都北区西が丘地先



現場代理人 橋 茂生  
(土木工事部 工事主任)

2年後に迫った東京オリンピック開催に向けて、現在さまざまな工事が行われていますが、その中でナショナルトレーニングセンター拡充棟等の建設に先立ち、その地下工事部分を当社が施工いたしました。

全敷地面積14,696m<sup>2</sup>に、地上6階地下1階の体育館・水泳場・宿泊施設などを建築中で、そこはオリンピックを始めとする国内トップレベルのスポーツ選手の強化のために使われる施設となります。

さまざまな業者、多くの人々が全国から集まり、この国を挙げてのスポーツの祭典開催に向かって心を一つにしている場で当社が一端を担うことができ、大変光栄に思います。

東京オリンピックの無事、盛大な開催を祈りながら、これからも当社の技術を活かせる場所で関わっていきたいと思います。

## ■株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定期株主総会	毎年9月
基準日	定期株主総会 每年6月30日 期末配当 每年6月30日 中間配当を行う場合 12月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	T168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所

#### 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

#### ■表紙絵画に寄せて



水が温む頃の湖畔には、ヨシキリが鳴き出し、ヨシそのものが、昨年の枯れている茎の元から、濃いグリーンの新しい芽を押し出してくる。柳なども、淡い新緑の芽吹きが始まり、喜ばせてくれる。南湖を挟んで、三上山が青く浮かぶ。

春の訪れ待ってました！

by Brian Williams

ブライアン・ウィリアムズ オフィシャルサイト  
<http://www.brianwilliamsart.com>

